

2015(平成27)年度

一般社団法人ゼンコロ 事業報告書

(2015年4月1日～2016年3月31日)

1. はじめに

ゼンコロは、一般社団法人に移行して2年目を迎え、公益目的財産額を活用した公益目的事業を引き続き着実に実施した。

障害者福祉の国際的な動きとして、障害者権利条約を2014年1月20日に我が国が批准したことを受け、日本政府は、政府報告(イニシャルレポート)を2016年1月に公表した。締約国は、条約の各条文に照らし合わせた国内の実施状況をレポートにまとめ、国連・障害者委員会へ批准後2年以内(日本は2016年2月以前)に提出し、委員会の審査を受けなければならない。合わせて、締約国の非政府組織が作成する報告(パラレルレポート)を国連に提出することができるため、日本障害フォーラム(JDF)はその提出を予定している。ゼンコロは認定NPO法人日本障害者協議会(JD)の会員団体であり、JDはJDFに加盟しているため、ゼンコロとしても制度政策部会を中心にその学習会を重ねた。第1回政府報告案に対して、ゼンコロとしてのレポートをJDに提出するとともに、パブリックコメントも会長名で外務省へ提出した。

国内の障害者福祉は現在、障害福祉サービス報酬単価の見直し、障害者総合支援法施行3年後の見直し、社会福祉法の改正に伴う制度改革、障害者差別解消法の基本方針のまとめ、障害者雇用促進法の見直し、生活保護基準引き下げ、精神科病棟の病床転換型居住施設の問題、年金の地域格差、65歳以降介護保険優先問題など多くの課題を抱えている。どれも重要な課題であり、JDを軸に諸問題に関心を寄せ、情報収集と関係団体との連携に努めた。

公益目的事業をとおしてゼンコロは、障害福祉サービス事業に関する各種研修会を開催し、従事者の技能向上に努めた。また、働く障害者の職場を維持・発展させるため、先進事例の視察研究など各種取り組んだ。

2. 具体的な事業内容

(1)障害福祉の理解に関する普及啓発事業

- ・[計画] 障害者施策に関する最新動向の問題について制度検討の場の研修会を開催する。
[実績] 運営委員会の開催ごとに、冒頭に会長から最新動向の情報提供を受け、意見交換を重ねた。
- ・[計画] ゼンコロセミナーを沖縄で開催し、障害者施策に関する普及啓発に努める。
[実績] 4月16日沖縄コロニーで第10回ゼンコロセミナーに代わる意見交流を開催した。
- ・[計画] 障害者を対象とした技能の交流型競技会を開催する。その上で、2016年度に開催予定の全国障害者技能競技大会(アビリンピック)への参加を呼びかけ、障害者の技能向上を図ることを目的に、上位入賞者を引き続き褒賞する。
[実績] 11月7日にながのコロニーで障害のある方の競技者13名を始め、付添いも含めて30名の参加者をもって開催した。アビリンピックの競技種目であるDTP部門とともにオフィス・アシスタント部門のデモンストレーション競技を実施した。DTP部門の上位4名を褒賞し、交流を深めた。
- ・[計画] 広報誌を7月、12月に発行する。
[実績] 158号を8月5日発行し、159号を2月3日に発行した。
- ・[計画] ホームページの更新を適宜実施する。
[実績] 青森県コロニー協会の協力で画面のマイナーチェンジを行った。研修会開催の

お知らせ、広報誌のアップ等更新を重ねた。

- ・ [計画] ゼンコロ出版の書籍の販売を促進する。
[実績] 丸山一郎さんに関する書籍、その他の書籍の販売に努めた。
- ・ [計画] 「常に先駆け走り抜く一障害のある人と共に生きた丸山一郎」(2014年11月8日出版)の出版記念会を、今後の障害福祉への理解と向上を目的に開催する。
[実績] 6月4日、中野サンプラザで遺族を始め、関係者88名の参加を持って開催した。その模様は6月15日付福祉新聞に掲載され、報道された。

(2)障害者の福祉向上に関する調査研究事業

- ・ [計画] 日本障害者協議会(JD)主催の「社会支援雇用研究会」へ引き続き関わり、障害者の社会支援雇用に関する調査研究に共同して参加のための必要な支援を行なう。
[実績] 5月25日開催の拡大会議に4名が参加し、意見交換に努めた。
- ・ [計画] 国連障害者権利委員会へ提出するパラレルレポートに関する調査研究を、JDの「パラレルレポート検討会」に参画し、実施する。
[実績] 5月23日開催の「JD政策会議 国連へ!パラレポを!権利条約下の私たちの実態を!」、11月26日開催の「障害者権利条約の政府報告に関する学習会」にそれぞれ参加し、制度政策部会を中心とした政府報告の把握・分析と課題指摘に努めた。

(3)障害者の雇用・就労支援に関する研究開発及び試行的事業

- ・ [計画] 障害者雇用を前提に、ワーキングチームを組んで小規模事業の創出を目的とする調査研究を引き続き実施する。
[実績] ワーキングチームをAとBの2班にわけて計8名で構成し、先進事例の事業所視察では計10名が参加した。7月21日～23日に宮城県の3事業所、8月4日～5日に神戸と岡山の2事業所、9月2日に東京、神奈川で2事業所、9月29日に長野の1事業所と、計8ヶ所の先進事例を調査した。その報告と提案を12月10日～11日開催の事業部会に提出し、2月4日～5日の第26回運営委員会、3月3日～4日開催の第69回理事会、第71回総会へ提案した。また、報告と提案を100部印刷して、周知と活用を図った。

(4)障害福祉従事者の専門的知識及び支援技術の向上に関する事業

- ・ [計画] 職員の資質向上を図るため、連続5日間のスキルアップ研修会を2回開催する。
[実績] 9月9日～11日、中野サンプラザで16名の参加を得て第1回目を開催した。2回目は1月27日～29日に17名の参加者をもって開催した。
当初はそれぞれ5日間の予定だったが、1週間にわたって受講者を研修に出すことは所属法人にとって運営的にきつく、3日間に短縮した。
- ・ [計画] 精神・発達障害者の支援技術研修会を開催する。
[実績] 6月25日～26日、中野区中部すこやか福祉センターで精神科医(ゼンコロ監事)を講師に26名の参加で開催した。

(5)障害者の支援を行う施設・事業所の設置及びその運営に関する相談助言事業

- ・ [計画] 障害者施設の運営における多岐にわたるニーズに応えるため、会員法人からの要望をまとめた上で、先進事例を持つ施設・法人で現地交流研修を開催する。
[実績1] 社会福祉法人制度改革に関する今後の動向の情報を共有するため、税理士(ゼ

ンコロ監事)を講師に4月9日、戸山サンライズで38名の参加者で研修会を開催した。

[実績2] 印刷事業を大規模に展開する青森県コロニー協会の協力を得て、印刷事業の向上を図るための現地交流研修会を10月7日～9日に20名の参加を得て実施した。青森県コロニー協会の多くの営業、製造現場の担当者に協力をしてもらい、現地交流も兼ねた研修会を実施することができた。

[実績3] 障害のある方の生活の場の確保を進めるため、グループホーム設立・運営に関する研修会を東京コロニーの協力で2月25日～26日、11名の参加をもって開催した。

(6)関係団体・事業者との連携交流に関する事業

- ・[計画] 日本障害者協議会(JD)の事業活動へ引き続き関わり、支援をしていく。
- [実績] JDに引き続き加入し、機関誌『すべての人の社会』(毎月発行)を購入して会員法人へ提供した。毎月開催しているJD理事会、政策委員会へ出席した。4月7日、7月14日のパラレルレポート検討会、5月23日の総会・政策会議、5月25日の社会支援雇用研究会・拡大会議に出席した。なお研究会は提言公表後、2008年8月に第1回会議を開催して以来、7年間にわたる活動に終止符を打った。8月28日の「JDサマースクール 戦後70年と障害者」へ開催協力し、参加した。
- ・[計画] 「障害者自立支援法訴訟の基本合意の完全実現をめざす会」による活動に引き続き関わり、完全実現をめざして努力する。
- [実績] ゼンコロ広報誌158号に「めざす会」の活動を掲載し、周知した。
- ・[計画] ワーカービリティ・インターナショナル・ジャパン(WIJ)の活動に引き続き参加し、障害者の就労に関する国際的見聞を広める。
- [実績] 5月4日、8月21日、11月13日、2月19日開催の理事会へ出席した。また、4月24日、WAsia人材交流プログラム報告会が戸山サンライズで開催され、ゼンコロから4名が参加した。
- ・[計画] 海外における障害者施策の動向と現状を把握するためワーカービリティ・インターナショナル(WI)及びワーカービリティ・アジア(WAsia)の国際会議に参加する。
- [実績] WI総会が6月20日～22日、米国・サンディエゴで開かれ、ゼンコロから2名を代表派遣した。また、7月8日～10日タイ・パタヤでのWAsia総会にも2名を代表派遣した。11月19日に海外視察報告会を持ち、4名から報告を受けた。また、WIJの呼びかけに応じ、ネパール大地震の緊急募金に協力した。
- ・[計画] 「きょうされん」と連携し、ともに障害者福祉の向上に努める。
- [実績] きょうされんが「パラレルレポート」に反映させることを目的に10月に実施した「障害のある人たちの地域生活実態調査」に、ゼンコロの会員法人も全体で792名分を協力した。また、10月9日神戸で開催の全国大会へ会長が出席した。さらに、第39次国会請願署名・募金運動全国キャンペーンにも会員法人が協力した。

(7)公益事業を推進するための環境・衛生事業

- ・[計画] 古紙回収の請負事業、紙おむつ給付事業を中心とする収益事業を引き続き実施し、その収益は公益事業に充当する。
- [実績] 古紙回収事業は、大手流通センターの拠点に4月から8月にかけて新規開拓を展開した。古紙市況の安定を受けて堅調な収益を重ねることができた。おむつ給付事業は沖縄コロニー、あかつきコロニーの協力を得て引き続き事業を継続した。

3. 運営に関する事業

- [計画] 総会理事会は6月、11月、3月に開催する。三役会議は適宜開催する。
- [実績] 第69回総会、第67回理事会は6月4日～5日、11月19日～20日、3月3日～4日に開催した。第51回三役会議は10月29日に開催した。

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(法人法)」が改正され、2015年5月から施行された改正内容を受け、第69回総会で定款第28条2項を一部変更して9月24日に登記変更を完了した。また、定款第28条2項の「(非業務執行理事の)賠償責任を限定する契約」に記載する契約書案を定款施行規則に新たに定めるとともに、その他の内容の変更案を第68回、第69回理事会で提案・審議した。
- [計画] 運営委員会は主体的に開催してゼンコロの基本的な運営課題を検討・立案し理事会へ提案する。
- [実績] 運営委員会は第23回を4月9日～10日、第24回を7月2日～3日、第25回を11月18日～19日、第26回を2月4日～5日に開催した。
- [計画] 制度政策部会、事業部会、教育研修部会は計画された研修会等の事業の実施にあたる。
- [実績] 第1回制度政策部会は7月1日～2日に、第2回は9月3日～4日に、第3回を10月29日～30日、第4回を11月18日に開催した。

第8回事業部会は、障害者雇用の小規模事業創設を目的とした先進事例視察調査のための第1回ワーキングチーム会議として4月8日に開催した。また、第2回ワーキングチーム会議を12月10日～11日に開催し、各ワーキングチームから報告と提案を受けた。

教育研修部会は部会としての会議は開催せず、関連研修会開催に向けてメールで意思疎通を図った。

以上

平成27年度事業報告 附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年6月2日
一般社団法人 ゼンコロ